

医学振興银杏会シンポジウム

大阪大学のCOVID-19への取り組み

日時 2022年10月7日(金)15時～17時40分
場所 大阪大学银杏会館3階 阪急・三和ホール

新型コロナウイルス感染症の流行が始まってからもうすぐ3年が経とうとしています。大阪大学はこの新興感染症に対して、臨床・研究・教育啓発の観点から様々な貢献をしてきました。また2021年4月からは感染症総合教育研究拠点(CiDER)が設置され、これからのパンデミックに備えた未来への取り組みを開始しました。このシンポジウムではこれまでの大阪大学での新型コロナウイルス感染症への取り組みを振り返りながら、今後の日本の感染症対策の展望について議論します。

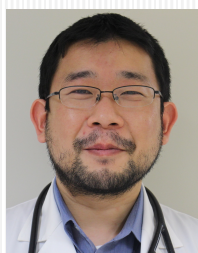


基調講演 「行動経済学とCOVID-19」
大竹文雄 先生

(大阪大学特任教授 CiDER副拠点長)



基調講演 「基礎研究とCOVID-19」
竹田 潔 先生 (大阪大学教授
CiDER 感染症・生体防御研究部門)



「これからの感染症対策と人材育成」
忽那 賢志 先生
(大阪大学教授 CiDER人材育成部門)

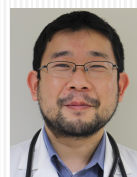
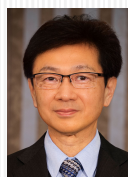
「科学広報と感染症」
中込咲綾 先生
(大阪大学特任准教授 微生物病研究所)



「阪大病院におけるCOVID-19の感染対策」
太田悦子師長 (大阪大学医学部附属病院 看護師長)

コーディネーター

楽木 宏実 先生
(阪大 老年・総合内科学 教授
当会副理事長)



忽那 賢志 先生
(阪大 感染制御学 教授
CiDER人材育成部門)

主催

公益社団法人 医学振興银杏会 (大阪大学医学部学友会)

<https://www.ichou.or.jp> Tel06-6879-3501 Fax06-6879-3503